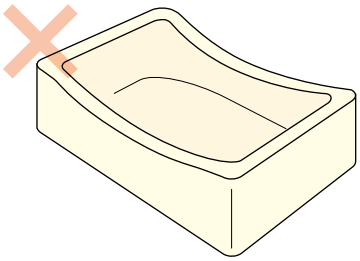
ユニットバス対応浴槽手すり UST-130UB ショート　取り付けについて

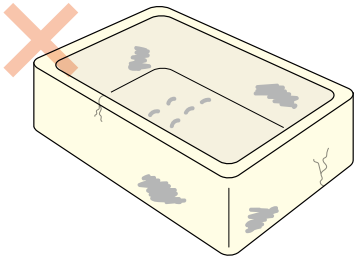
取り付けできない浴槽・場所

浴槽…木製の浴槽、大理石の浴槽
場所…タイル敷きの洗い場、小石敷きの洗い場、クッション性のあるやわらかい床面、大浴場、温泉施設
上記以外でもご使用前に製品が浴槽へしっかりと固定できるか確認してください。

■浴槽壁の高さが異なる浴槽

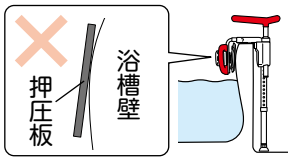


■著しく劣化した浴槽



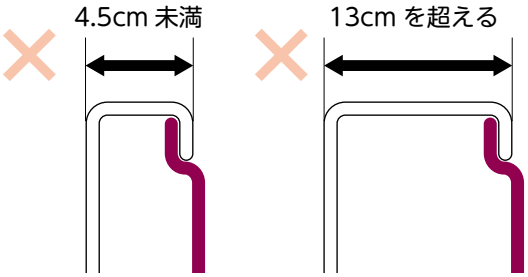
●ひびの入った浴槽、表面がざらついている浴槽など、劣化した浴槽に取り付けを行うと、浴槽が破損するおそれがあります。
●浴槽の経年劣化は使用環境により異なります。

■浴槽の内側が大きく湾曲している浴槽

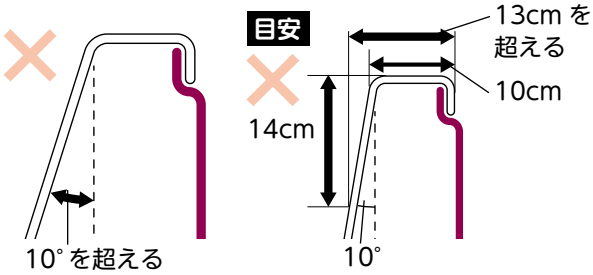


押圧板と浴槽壁の間にすき間が生じるため、製品が抜ける原因になります。

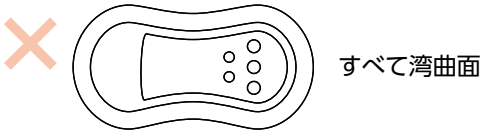
■浴槽壁の厚みが4.5cm未満の浴槽
■浴槽壁の厚みが13cmを超える浴槽



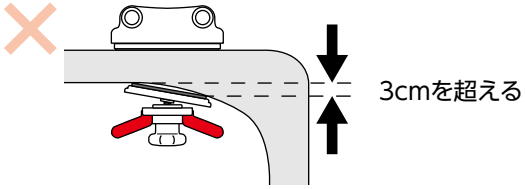
■浴槽内壁の傾斜が10°を超える浴槽



■湾曲の大きい浴槽、部位（コーナー部）

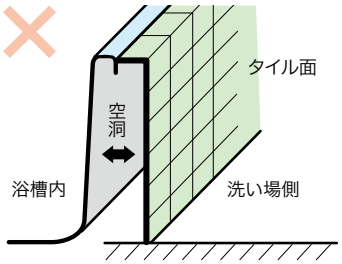


浴槽壁の厚みの最も厚いところと最も薄いところの差が3cmを超える箇所には取り付けできません。



■タイル貼りで中身が空洞の浴槽

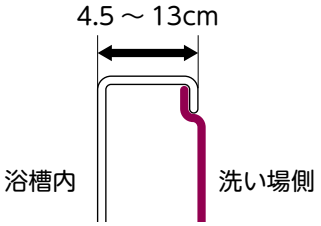
浴槽外側がタイル貼りで中身が空洞の場合は、取り付けできません。



取り付けできる浴槽の目安

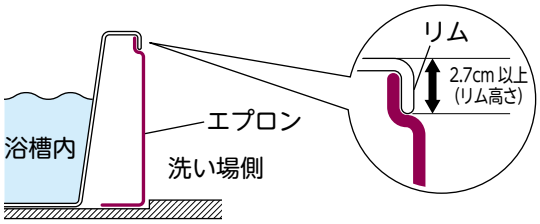
取り付けできる浴槽は目安ですので、取り付けの判断ができない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

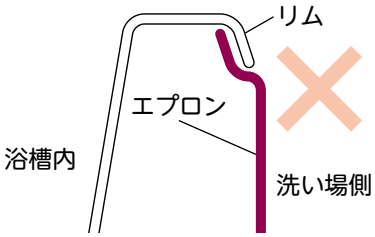
■浴槽壁の厚みが4.5～13cm



■浴槽壁（洗い場側）のリム高さが、2.7cm以上

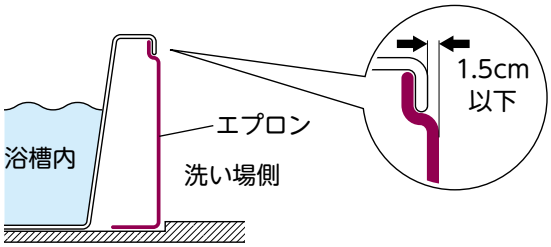
※リムが垂直でない浴槽には取り付けできません。

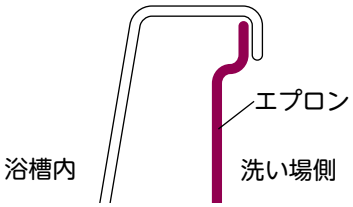




■エプロンの出幅が浴槽壁（洗い場側）より1.5cm以下

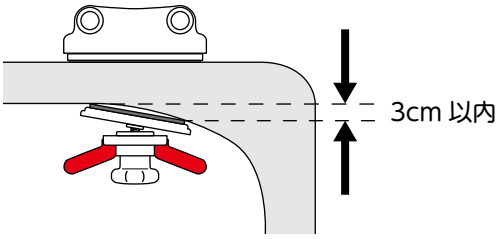
※浴槽壁よりエプロンが出ていない場合は問題ありません。





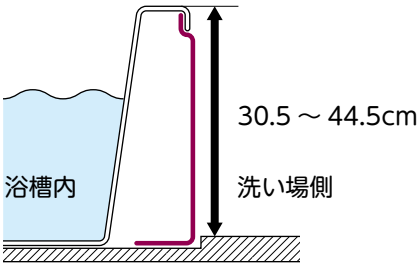
■浴槽の厚み幅の差が3cm以内

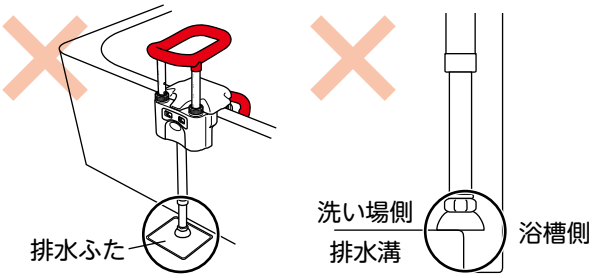
浴槽壁の厚みの最も厚いところと最も薄いところの差が3cm以内となる箇所に取り付けできます。



※コーナー部など、押圧ゴム板の接触する面が湾曲している場合、押圧板が変形することがあります。

■浴槽壁の高さが30.5～44.5cm



■脚ゴムの接地状態

脚ゴムの底面が床面とすき間なく接地していることを確認してください。
脚ゴムが洗い場の排水溝や排水ふた、グレーチングに接していないことを確認してください。